

早稲田大学レジリエンス研究所 (WRRJ)
科研バックエンド問題研究会
「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物 (HLW) 管理政策と世代間公平性」
第 15 回科研バックエンド問題研究会
議事録

日時：2019年6月28日 (金) 18:00-20:30

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 713 会議室

出席者 (敬称略)：

研究会メンバー

松岡俊二	早稲田大学国際学術院 (アジア太平洋研究科)・教授
勝田正文	早稲田大学理工学術院 (環境・エネルギー研究科)・教授 (途中退席)
師岡慎一	早稲田大学理工学術院 (先進理工学研究科)・特任教授
松本礼史	日本大学生物資源科学部・教授
黒川哲志	早稲田大学社会科学総合学術院 (社会科学研究科)・教授 (途中退席)
竹内真司	日本大学文理学部・教授 (途中参加)
井上 弦	長崎総合科学大学総合情報学部・准教授

事務局

CHOI Yunhee	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程
山田美香	早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程

オブザーバー

李 洸昊	早稲田大学大学院 環境エネルギー研究科・助教
------	------------------------

議題：

- (1) 第2回 HLW 市民アゴラ・アンケート調査の結果分析について
 - ・第1回の結果を振り返りもかね、まず結果の概要を報告し、その後、第2回の結果報告を行う。
 - ・第2回の考察として文脈モデルが社会的議論の形成に寄与するとの記述があるが、研究プロジェクトの目的は、市民が何を根拠に判断をするのかということをはっきりとすることであり、社会的議論の形成について研究したのではない。
 - ・第2回の結果については、前後の変化量に着目して比較検討をすると、説明できていないことが明らかになる可能性があるかもしれない。まずは、変化の数値化を行い検討する。
- (2) 第3回 HLW 市民アゴラ (7/20) のプログラム・内容について
 - ・前半の討論1、2において、基本的には市民各自の自発的発言とする。ファシリテーターは議論の拡散や停滞時には進行を行う。なお、第3回会議全体を通して、原則1人2分以内というルールを設定する。
 - ・討論2では、制度・市場・地域の安全・安心について議論することとなっているが、市民にはそれが何か分からない可能性もあるので、アンケートの該当部分を抜き出し、当日資料として配布をする。
 - ・全体討論は事前にテーマ設定をせず、市民討議により展開させる。途中必要に応じて、ファシリテーター (松岡) が専門家・研究会メンバーの情報提供を求めるが、討論は市民主体で行う。
 - ・研究結果・研究成果の発表については、研究副代表 (松本・竹内) が担当する。PPT8~10枚程度を想定し、事務局から再度結果を整理し、PPTのたたき台を7/13 (土) ごろに配信する予定。
- (3) 環境経済・政策学会 (Seeps) 2019年大会・企画セッションについて
 - ・「バックエンド問題の社会的合意」の企画セッションが「福島復興知」の企画セッションと同時間帯に開催されることになったので、座長を松岡から師岡へ交代する。

- (4) 第13回ワークショップ「バックエンド問題と世代間公平性を考える」(7/19)について
- ・7/15(月) 寺本先生の報告資料
 - ・7/17(水) 報告資料を討論者と研究会メンバーに送付
- (5) その他(今後の予定など)
- ・MRIプロジェクトが完了した後、下半期中に科研プロジェクト内で進行することの検討(様々な方法の可能性の検討): 秋以降に次の募集があるようではあるが、現段階では未定である。アイデアとして、今回参加頂いた市民の中で継続して頂ける方には継続して頂き、新たな市民との比較もできるのではないかと考えている。ただ、科研でも市民会議の想定をしているので、MRIについては、別途検討をしたい。

今後の予定

2019年

7月19日	(金)	18:00 - 20:00	第13回ワークショップ(WS)
7月20日	(土)	13:00	第3回HLW市民アゴラ
7月31日	(水)		Seepsバックペーパー 配信
8月9日	(金)	12:00	Seepsバックペーパー 〆切
8月20日	(火)		MRI研究プロジェクト実績報告書
9月2日	(月)		Seeps 事前登録 〆切
9月4日	(水)		Seeps 事前振込 〆切
9月6日	(金)		MRI研究プロジェクト成果発表(予)
9月9日	(月)	16:00 - 18:30	第16回研究会(Seeps学会の議論)
9月28日(土) - 29日(日)			環境経済・政策学会2019年大会(福島大学)